

各相談室・検査の連絡先

●緩和ケアセンター

Tel/088-633-7457 (Fax兼用)

●PET/CT検査

Tel/088-633-9106 Fax/0120-335-979

●セカンドオピニオン外来

Tel/088-633-9654 Fax/088-633-9978 ※完全予約制

●女性外来

Tel/088-633-9177 (Fax兼用) ※完全予約制

●遺伝相談室

Tel/088-633-9218 Fax/088-633-9219 ※完全予約制

●臨床試験管理センター

Tel/088-633-9294 Fax/088-633-9295

●おくすり相談室

Tel/088-633-7960 Fax/088-633-7961 ※完全予約制

編集後記

病院内のローソンがリニューアルオープンして、ホスピタルロードが益々充実してきました。徳島大学病院は、皆さんにいつも「最高の医療」を提供するとともに、「おもてなしの心」を持って、気軽に来院できる施設になるよう努力して行きたいと思います。これからも、ご協力とご支援をお願いします。(副病院長 苜原 稔)

発行者 病院長 香川 征

編集委員長 楊河 宏章

編集委員 苜原 稔 山下 恭 居山 勝重 長山 勝
 篠原 千尋 吉平 富久 武田 憲昭 濱岡 廣安
 佐野 章 岩崎 裕一 橋本 茂 森口 博基
 六車 直樹 高松 典通 田中 善文

事務 総務課広報・企画部門 (088) 633-7697

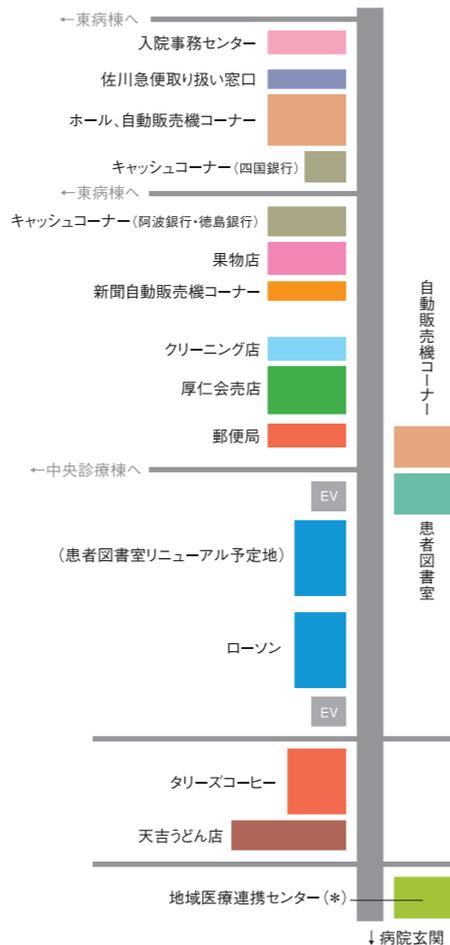
徳島大学病院
 Tokushima University Hospital

http://www.tokushima-hosp.jp/

■ご意見のある方はこちらまでご連絡下さい。bsoumuss1@jim.tokushima-u.ac.jp

病院内施設がますます便利に充実しています。

ホスピタルロード(病院1階)



(*) 地域医療連携センター

Tel / 088-633-9107 Fax / 088-633-9107
088-633-9056

カラダもココロも健康に

いきいきらしいふ

no.16
2007.SUMMER

徳大病院だより

特集

敷地内禁煙

■徳大病院ニュース

- 医療・保健・福祉の総合相談 [地域医療連携センター]
- [新規採用者オリエンテーション]を実施
- 西病棟安全祈願祭を挙行了しました
- 看護部からのお知らせ
 - ・新人看護師、日々成長中!
 - ・「看護の日」にイベントを開催

■コラム

- おぎゃと21に参加して

■最新医療の現場

- 体幹部定位放射治療
- 「研修医制度」2年目を迎えて

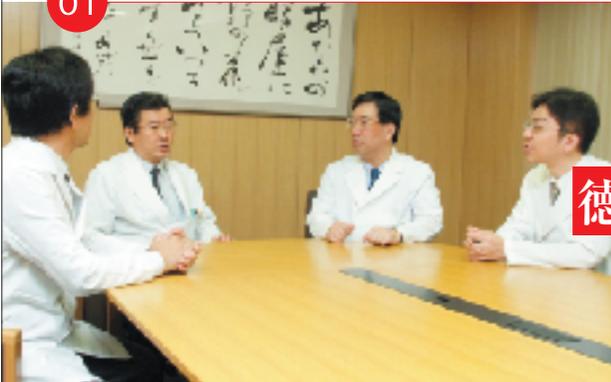
■食事のヒント

- 親子で作ろう! 楽しいおにぎり

■何でもQ&A

- セカンドオピニオン外来ってなあ〜に?

徳島大学病院
 Tokushima University Hospital



特集

座談会

徳島大学病院の敷地内禁煙を語る

平成19年1月より、徳島大学病院も敷地内禁煙となりました。院内禁煙になってからはむしろ病院の入り口で喫煙される方が多く、受診された方が煙攻めにあっている、というような状況があって、病院職員も心苦しい気がしていました。状況の改善から半年になり、今後も禁煙への取組をより広げていく必要があるかと考えこの座談会が企画されました。

司会（楊河） まず本院と禁煙の経緯についてお話いたします。今では禁煙が、かなり社会に受け入れられるようになって来たので、それでは当院でも取り組もう・・・という訳ではないのです。皆さん信じられないと思いますが、以前は病院でもタバコを販売していた時代がありました。実は本院からタバコの販売が姿を消したのは全国的にもかなり早く、平成14年1月31日のことです。それから病棟や外来単位では禁煙に取り組んでいました。受診される皆様以外にも、もちろん職員も禁煙に取り組む必要があり、禁煙に関する啓発活動を院内で開くなどの取組を行い、施設内禁煙を行ったのが平成15年10月です。



そして今回の敷地内禁煙に至ったわけです。タバコの害については、いろいろなことがいわれていますが、まずは肺がんやぜんそくなど、肺の病気が浮かび

ます。呼吸器・膠原病内科の埴淵先生に話を伺いましょう。

埴淵 呼吸器に関係する医師の団体である日本呼吸器学会では、平成14年に禁煙宣言が出され、喫煙は、肺がん、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、気管支喘息など、治療困難な多くの呼吸器病の発症、悪化に関与していること、喫煙の害は呼吸器のみならず全身におよんでいること、喫煙の健康被害は喫煙者のみならず、受動喫煙にさらされる者の問題でもあること、などがはっきり述べられています。さらに自らが、という意味から、日本呼吸器学会専門医は、非喫煙者であることが資格要件となっているのですよ。

司会（楊河） なるほど、禁煙を指導する呼吸器専門医がタバコを吸っていたのでは話にならないですね。タバコの害は肺だけではなくのことで、今度は循環器内科の赤池先生に話を伺います。

赤池 まず、喫煙は循環器疾患に関しても大きなリスクファクターであり、ニコチンは血圧を上昇させたり、心拍数増加をきたして心

臓に悪影響を及ぼします。さらに喫煙はコレステロールの変性を促進し、血管内皮を障害し、HDLコレステロールを減少させること、これらによって動脈硬化を促進し、循環器疾患（心筋梗塞、脳卒中）のリスクを増大させることが知られています。また、受動喫煙の虚血性心疾患への影響は肺がんよりもさらに明確とされています。

司会（楊河） なるほど、色々なリスクが考えられるのです。さて次に、手術を受ける、という一大事ですが、タバコを吸っていることが手術に影響を与えることがありますか？食道・乳腺甲状腺外科の丹黒先生に話を伺いましょう。
丹黒 まず、喫煙は肺癌以外にも、咽喉癌、喉頭癌、食道癌、胃癌といった癌のリスクフ

【循環器内科長】
赤池 雅史【口臭部門長】
日野出 大輔【司会】
楊河編集委員長【食道・乳腺甲状腺外科長】
丹黒 章【呼吸器・膠原病内科】
埴淵 昌毅

ァクターであることを強調しておきたいと思えます。手術との関係では、喫煙者は、全身麻酔手術後の喀痰排泄が多く、創の痛みで痰がうまく出せない肺炎などを併発したり、慢性喫煙者は創の治りも遅れます。喫煙している人も手術1ヵ月前には禁煙してもらいますが、なかなかやめてくれない人もいます。実は私もかつては喫煙していましたが、娘が小学校高学年になった時、受動喫煙について質問され、びたりと禁煙しました。

司会（楊河） ありがとうございます。重要な動機付けですね。タバコは、歯にも悪影響があるのでしょうか。口臭外来の日野出先生に話を伺いましょう。
日野出 歯科診療との関係では、喫煙は口臭の他、歯の喪失、歯肉メラニン色素沈着症、

味覚・嗅覚の減退といった問題に関連しますし、歯周病、口腔がんなどの疾病や、歯周治療、インプラント治療の失敗との関係もあります。一方、歯科の特徴として、喫煙による口腔の症状は自分で直接見ることが出来るので動機づけやすく、全身疾患の症状がまだ現れていない段階で介入することができるので、禁煙に積極的に取り組んでいきたいですね。
司会（楊河） ありがとうございます。タバコを吸っていない方は吸わないようにという気がますます致します。さて、実際吸っている方が禁煙を考えたとき、どのようにしたらいいのでしょうか。日野出先生の話にも出てきましたが、どのようにして禁煙を考えていただくか。もう一度呼吸器・膠原病内科の埴淵先生に話を伺いましょう。

埴淵 先ほどの丹黒先生、日野出先生のような動機付けも大事ですが、具体的な方策も重要です。現時点では保険外診療ですが、呼吸器・膠原病内科では、「禁煙外来」を週1回行っており禁煙を望まれる方に、ニコチン代替療法剤を含めた禁煙支援をしています。

今後は今日参加いただいている、呼吸器以外の医師にも参加いただいて、「禁煙外来」をより充実したものにしていきたいですね。

司会（楊河） ありがとうございます。本院でも禁煙外来などに取り組んでおり、ご活用をお願いしたいと思います。またかかりつけの先生によく指導を頂いたほうがいい場合もありますので、徳島県医師会にも取組に関してお尋ねしました。ホームページの中にSTOP SMOKINGというサイトがあり（<http://www.smop.jp/>）禁煙外来を持つ医療機関など、色々な情報が公表されていますので、ご参考にさせていただきます。最後に皆様にもう一度お願いです。これからの未来のある子供たちのためにも禁煙に取り組ましましょう。徳島大学病院では敷地内禁煙にどうぞ協力ください。

■禁煙外来についてのお問い合わせ先
呼吸器・膠原病内科 医師 埴淵 昌毅
連絡先

Tel/088-633-7127

Mail/mhoney@clin.med.tokushima-u.ac.jp

徳大病院ニュース 徳島大学病院の最新情報をお届けします

医療・保健・福祉の総合相談 [地域医療連携センター]



地域医療連携センターは、患者さんやご家族の方へ向けた、医療・保健・福祉に関わる総合相談窓口として開設しており、地域の医療機関との連携窓口にもなっています。業務内容は以下のとおりです。

- 在宅療養上の相談 ●医療福祉相談 ●苦情に関する医療相談
- 地域医療機関との連携（新患FAX予約、病院や保健所との連携）
- 退院前訪問看護 ●まちの保健室 ●難病相談（徳島県からの委託事業）

これらの業務は、看護師・医療ソーシャルワーカーをはじめ各専門職種がチームとして連携を図りながら対応していますので、お気軽にご相談下さい。（センターの連絡先及び場所については、P7をご参照下さい。）

西病棟安全祈願祭を 挙行了しました



▶西病棟新築工事の安全祈願祭で神事を行う香川病院長。

[新規採用者オリエンテーション]を実施

4月2～5日の4日間、平成19年度[新規採用者オリエンテーション]を実施し、医師、歯科医師、卒後臨床研修医、看護師、技師、薬剤師、事務職員の新規採用者約250名が受講しました。講演に先立ち、香川病院長から挨拶が行われた後、カリキュラムに沿って本院の医師・歯科医師や看護師長、薬剤部長等が、「病院組織」や「医の倫理・人権問題」等、病院や医療全般についての講演を行いました。また、受講者を職種ごとのグループに分けて心肺蘇生法の実習及び個人情報保護(P-Mark)の研修が行われました。受講者は、このオリエンテーションを通して、大学病院という高度な医療を提供する病院において、安全な医療を行うための基本姿勢を習得することができました。



4月27日に西病棟新築工事の安全祈願祭を建設予定地において挙行了しました。香川病院長ら関係者約30名が出席し、工事の安全を祈願しました。西病棟工事は再開発計画の病棟二期にあたり、平成21年10月完成予定です。計画によると西病棟は11階建てで、完成すれば本院では一番高い建物となります。1階に外来患者さんや他病棟の患者の皆様への導線考えた総合リハビリテーションのフロアを、また、11階にはレストランフロアを予定しています。

看護部からのお知らせ



新人看護師、日々成長中!

看護部では7:1看護体制の導入に伴い、今年度は100余名の新規採用者を迎えました。看護教育支援室では入職者のレディネス調査をもとに、研修プログラムを組み、[ホップ・ステップ・ジャンププログラム]と称した新人教育を計画しています。4月よりホップコースとして看護技術研修を展開しており、みんな熱心に研修に取り組んでいます。臨床業務はまだまだ未熟ですが、皆様方のご指導をいただき大きく育ってくれることを望んでいます。温かい見守りとご協力をお願いいたします。

「看護の日」に イベントを開催

5月10日(木)「看護の日」協賛行事として病棟内で記念グッズを配布しました。また総合外来に一日看護相談室を設け、患者さんの看護相談を受けました。



▲記念品として配布したボールペンとデスクメモ。

臨床試験管理センターからのお知らせ

[現在、治験への参加をお願いしている病気]

- 腎細胞癌 ●脳梗塞 ●急性肺障害 ●重症筋無力症
- アルツハイマー病 ●筋萎縮性側索硬化症
- 多発性骨髄腫 ●潰瘍性大腸炎 ●骨粗鬆症
- 強迫性障害(小児) ●深在性真菌症(小児) ●不妊症

■問い合わせ先

臨床試験管理センター Tel.088-633-9294

速報!

[病院機能評価Ver.5]がこのほど認定されました。このことは、本院の医療の質が「財団法人日本医療機能評価機構」が定める水準にあることを証明しています。詳しくは、次号にてお知らせいたします。

おぎやっと21に 参加して

栄養管理室 松村 晃子

未来へはばたけ子供たち一徳島の次世代育成支援イベントとして、5月3、4日に[おぎやっと21]が開催されました。会場となったアスティ徳島内には様々なコーナーが設けられ、私は健康コーナーの栄養学科ブースに参加。調理実習や試食、離乳食などの食事相談を行いました。「主食をしっかり食べましょう!」を合い言葉に行われた今年の調理実習では[おぎやっと焼き]、[親子で作ろう! 楽しいおにぎり]、[パンdeパーティー]を実施。私が担当したおにぎり作りでは、ラップおにぎりや団子おにぎり、お雛様おにぎりなど見た目にも可愛いおにぎりを提案しました。参加した子どもたちは目をキラキラさせながら、おにぎり作り熱中している様子でした。最近はずに子供の食事の乱れ(朝食の欠食、偏食、個食など)が問題となり食育の重要性が目まぐるしく注目されている中で、このようなイベントを通じて正しい食習慣を身につけてもらえると、とても嬉しく思います。



最新医療の現場



入院なし。外来で、肺ガン治療ができる！
体幹部定位放射治療

放射線科
尾崎 享祐 おさききょうすけ

■問い合わせ先 放射線科外来 Tel.088-633-9284

10年程前から始まり、最近さらに注目を集めている「体幹部定位放射治療」。これは、体幹部にできた腫瘍にピンポイントで放射線を照射治療できるもので、主に肺ガン治療に用いられています。頭部は固定がしやすく、ピンポイントで治療が施しやすかったため、従来は頭部のみ用いられていたのですが、ソフトや機器の進歩

に伴い、毎回治療前にCTを撮って照射する患部へのズレを補正してから照射できるようになり、体幹部であってもピンポイント照射が可能になりました。この治療法では、腫瘍の大きさに合わせ、正確かつ集中的に放射線が放射されるため、他臓器への障害も防げます。通常の肺ガン手術に匹敵する効果も上げられており、手術に比べ痛み



新人歯科医師の、卒業後1年以上の臨床研修が義務づけられました
「研修医制度」2年目を迎えて

総合歯科診療部長・卒後臨床研修センター副センター長
河野 文昭 かわのふみあき

■問い合わせ先 卒後臨床研修センター Tel.088-633-9359

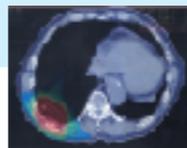
「歯学部を卒業し、国家試験に合格した新人歯科医師は、1年以上の臨床研修を受けなければならない」という法律が昨年施行され、当大学病院でも卒後臨床研修センターを設け、実施してきました。この研修は、歯科それぞれの専門の枠を超え、口の中すべてに関する歯科の技術・知識が身に付くよう、実践を経て学んで行く場です。この研修を通して、口の中の健

康管理・治療計画がトータルに理解できるようになり、患者さんとのコミュニケーション能力を身につけ、個々の研修歯科医に積極性が出てきたように思われます。また、標準的な治療法を身につけられることで、スムーズに実際の仕事に入っていけるようになりました。今後は、実際に専門医として活躍している歯科医師への研修の場や、高度化する医療に対応できる研修

▼照射状況を示す資料。棒線が、腫瘍に対する照射と方向を表している。



▼右肺の断面図。放射線量の分布図。腫瘍に集中して照射されているのが分かる。



◀CTと放射線照射の両方を行うことのできる最新機器「CT-体型リニアック」。

などが少なく副作用も極めて少ない、安全性の高いものです。治療期間も1～2週間程で、外来での治療が可能。入院すると生活や仕事に支障のある方にとっても嬉しい治療法です。

新臨床研修制度で改正された部分

従来→研修は努力義務でしかなく、専門のみの研修内容だった。

現在→研修は義務となり、歯科全般に渡って学べるようになった。

従来→無償だったため、生活のためのアルバイトと研修との両立が困難なケースが多かった。

現在→生活保障（給与）を受けながら研修を受けられるようになった（アルバイト禁止）。

制度を充実させたり、開業医が地元で継続して最新の情報・技術などを学べるプログラム作りにも励んでいきたいと思っています。

食事のヒント

テーマ

親子で作ろう！ 楽しいおにぎり

今年の「おぎゃっと21」の調理実習で実施した、アイデアいっぱいのおにぎり作りを紹介します。



回答は、
栄養管理室 副室長
松村 晃子

ラップおにぎり

■A【さけワカメ】

【材料／1個分】 ●ごはん 40g ●カットわかめ 0.5g ●さけフレーク 10g ●コーン 適宜

【作り方】 ① 炊きたてのごはんにカットわかめを加え混ぜる。 ② ①を丸めてラップにのせ、上にさけフレークとコーンを飾って包み、リボンで結ぶ。

■B【焼肉】

【材料／1個分】 ●ごはん 40g ●焼肉（牛肉・ピーマン・人参・たれ）20g ●うずら卵 1/2個 ●焼きのり 細切り短冊 2枚

【作り方】 ① ごはんに焼き肉を1cmの長さに切って混ぜる。 ② ①を丸めて焼きのりの帯を十文字にかけ、うずら玉子をのせる。

■【海老チリ】

【材料／1個分】 ●ごはん 40g ●白ゴマ 1g ●海老チリ（むきえび・生姜・長ネギ・チリソース） ●グリーンピース 適宜

【作り方】 ① ごはんに白ゴマを加え混ぜる。② ①を丸めてラップにのせ、海老チリを芯にしてまめ、グリーンピースを飾って包み、リボンで結ぶ。

工作おにぎり

【材料】 ●ごはん ●好きな具材（焼きのり、小梅、黒ごま、コーン、人参、赤ピーマン、薄焼き玉子、うずら玉子、ハム、ウインナー、チーズ、きゅうり、オクラ、グリーンピース、絹さや、空豆など）

【器具】 ●抜き型（ウサギ型・車型・魚型・花型・星型など） ●ふりかけ型（キャラクターの顔など） ●調理用ハサミ・ピンキングバサミ

【作り方】 ① ごはんを好きな型に詰めて抜く（抜き型は必ず水でぬらして使う）。② 色々な材料、器具を使って目・耳・鼻・口などを付け、顔や動物、乗り物を自由につけてみよう。

おひな様むすび

【材料】 ●ごはん 160g ●薄焼き玉子2個分 ●うずらの卵 2個 ●のり・黒ごま・ハム・人参・三つ葉・赤ピーマンなど 適宜 ●塩 少々

【作り方】 ① ごはん80gを三角ににぎり、塩をまぶす。② うずらの玉子につま楊枝を刺して、おにぎりに刺し、顔にする。③ おにぎりを薄焼き玉子で巻く。④ のりを髪型に切り、うずら玉子に貼り付ける。⑤ 黒ごまを目に、赤ピーマンを口とし、ハムで扇を作り、三つ葉の帯で巻く。

団子おにぎり

【材料／1個分】 ●ごはん 25g×3（もち米でも良い） ●ミモザ（茹でた卵黄を裹こしたもの）適宜 ●青のり粉 適宜

●でんぶ 適宜
【作り方】 ① ごはんを丸く握っておく。② ①に軽く塩をふり、各々ミモザ、青のり、でんぶをまぶし串にさす

簡単おにぎり弁当

【材料】 ●ラップおにぎり ●団子おにぎり ●工作おにぎり ●から揚げ・ウインナー・レタス・ミニトマトなど

【作り方】 ① お弁当箱に、お気に入りのおにぎりを2個詰める。② ①のあいている所に、から揚げを紙カップに入れて詰めまわりにレタスやミニトマト、あればフルーツを飾って出来上がり!!



何でも Q & A

Q セカンドオピニオン外来ってなあ〜に？

A セカンドオピニオン外来は、当院以外で検査や治療を受けている患者さんが今受けている検査、診断内容、治療法などについて、徳島大学病院の専門医が、十分に時間をとって話を聞き、客観的な意見を提供する外来です。

Q セカンドオピニオン外来の利用方法は？

A セカンドオピニオン外来は診療ではなく、相談外来です。電話かFAXでの予約が必要です。相談の際には、かかりつけ主治医からの検査資料や診断書など必要書類を持参のうえ、1F医療支援センターへお越し下さい。

Q セカンドオピニオンすると何が良いの？

A 当院以外の医師から聞いた診断内容や勧められる治療法について、客観的かつ家族のような立場で相談に乗ります。そのため、説明を受けたが十分理解できない場合や、治療法の選択で迷っている場合に、専門医から気軽に最新の情報が聞けます。



回答は、
副病院長（医科診療担当）・医療支援センター 相談外来部門長
苛原 稔（いらはらみのる）

■問い合わせ先
セカンドオピニオン外来
Tel.088-633-9654（月曜～金曜、13時～16時） Fax.088-633-9978
※完全予約制（月曜～金曜、9時～16時）※相談は保険適用外です。